



潟上市章

かたがみ  
Katagami

# 市議会だより

第25号



海の日 「マリンスポーツフェスティバル」(天王海洋センター艇庫)

## 6月定例会

H23(2011)08.01

平成23年(2011年)  
8月1日発行

|       |     |            |       |
|-------|-----|------------|-------|
| 6月定例会 | 2~3 | 議会報告会      | 10~11 |
| 一般質問  | 4~7 | 全国市議会議長会表彰 | 12    |
| 委員会報告 | 8~9 | 全員協議会      | 12    |

2011年  
6月定例会  
6月17～30日

# 平成23年度 一般会計補正予算

# 1億2,367万2千円を原案可決

- 人事案件**
- 潟上市固定資産評価審査委員会委員  
菊地 福一郎 氏 (天王上出戸)
  - 伊藤 和人 氏 (飯田川和田妹川)
  - 潟上市教育委員会委員  
鈴木 政 氏 (飯田川和田妹川)
  - 湖東地区行政一部事務組合議会議員  
佐々木 一 信 氏 (昭和豊川)
  - 議会推薦農業委員  
澤井 昭二郎 氏 (昭和豊川)  
舘岡 美果子 氏 (昭和久保)

- 条例改正**
- 市税条例の一部を改正する条例 (案)
  - 市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 (案)
  - 農業委員会の選任による委員の団体推薦に関する条例の一部を改正する条例 (案)
  - 農業集落排水施設設置条例の一部を改正する条例 (案)
  - 下水道条例の一部を改正する条例 (案)
  - 水道事業給水条例の一部を改正する条例 (案)
  - 行政に係る基本的な計画の議決に関する条例の一部を改正する条例 (案)

- 報告案件**
- 平成22年度一般会計予算の繰越明許費繰越計算書について
  - 平成22年度一般会計予算の事故繰越し繰越計算書について
  - 平成22年度下水道事業特別会計予算の繰越明許費繰越計算書について

## ◆ 歳出の主な内容

|                                     |           |
|-------------------------------------|-----------|
| ● 地上デジタル放送受信対策費補助金                  | 1,521万6千円 |
| ● 自治総合センターコミュニティ助成事業                | 281万1千円   |
| ● 小学校自家発電機等購入費                      | 135万4千円   |
| ● 中学校自家発電機等購入費                      | 45万2千円    |
| ● 幼稚園自家発電機等購入費                      | 90万3千円    |
| ● 保育園自家発電機等購入費                      | 403万9千円   |
| ● 羽城中学校厨房配管排水柵改修工事                  | 499万2千円   |
| ● グループホーム施設へのスプリンクラー等設置に要する施設整備等補助金 | 1,430万5千円 |
| ● 大腸がんおよび胃がん検診の無料クーポン券事業            | 351万2千円   |
| ● 津波ハザードマップ作成委託料                    | 523万7千円   |
| ● 潟上漁港機能保全工事関係                      | 3,001万円   |

## ◆ 専決処分の承認

- 損害賠償の額を定めることについて
- 平成22年度一般会計補正予算 (第8号)
- 平成22年度農業集落排水事業特別会計補正予算 (第4号)
- 平成22年度下水道事業特別会計補正予算 (第5号)
- 平成22年度水道事業会計補正予算 (第5号)
- 国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 平成23年度一般会計補正予算 (第1号)

## ◆ 特別会計補正予算

|                          |           |
|--------------------------|-----------|
| ● 国民健康保険事業特別会計補正予算 (第1号) | 1,092万3千円 |
| ● 介護保険事業特別会計補正予算 (第1号)   | 1,912万2千円 |
| ● 下水道事業特別会計補正予算 (第1号)    | △2,964万円  |
| ● 水道事業会計補正予算 (第1号)       |           |
| 収益的収入                    | 348万9千円   |
| 収益的支出                    | △688万3千円  |
| 資本的収入                    | 112万円     |
| 資本的支出                    | 224万1千円   |

**発議第2号 議会基本条例策定特別委員会の設置に関する決議について… 否決**

提出者…小林 悟  
賛成者…鈴木斌次郎・伊藤 栄悦  
中川 光博

提案理由は、「地方分権が進む中で、議会の役割がますます大きくなったことから、議会のあるべき姿を条例に定める必要がある」というもので、委員数の根拠、委員会の設置期間などについて提出者に質問がされました。

反対討論では「議会運営の足固め、議会改革特別委員会の積み残し事項の整理が急務。一部議員の先行により策定した条例が全く機能しなかった事例があり、今回も同様の結果となるのが容易に予想される」、「議会全体に関するものは議員全体に周知し発議すべきで非民主的。特別委員会の費用の検討もあいまい。策定中の自治基本条例との整合性も重要で時期尚早」と賛成討論では「手続き論にこだわらず、本質論、中身の協議をすべきだ」という討論が行なわれました。

採決の結果、発議第2号は否決されました。

**陳情**

【採択】  
● 学校薬剤師報酬改善に関する陳情書  
付託 総務文教常任委員会

## 防災計画について

藤原 幸 作 議員

**問** 東日本大震災に伴なう潟上市地域防災計画の見直し、線量計の設置、水道施設、クリーンセンター、避難所等の電源対策、津波ハザードマップの作成、教育施設における災害対応は。

**答** 津波ハザードマップ作成と同時進行で避難所の見直しを含めた防災計画の見直しを予定します。公共機関や学校等個別の施設において放射総量を測定する機器を整備します。大郷守浄水場と町後送水ポンプ場の自家発電は約1億1,000万円と多額であり補助金等について調査しています。ごみ処理施設の電源対策は、今後の基幹的設備改良工事に含めて設置



大郷守浄水場

を検討します。避難所の電源対策は、避難所の見直しを含めて年次計画で整備を図ります。

津波ハザードマップ作成時に市民とワークショップおよび意見交換会を実施し、避難所、避難経路の策定に反映させます。標高表示はマップへ表示、看板等の情報提供します。

幼稚園、保育園とも地震を含めた避難訓練を実施、小中学校も「学校防災マニュアル」および緊急対応マニュアルに沿って、防災計画を教育計画に盛り込んでいきます。

**問** 住宅用太陽光発電の補助金は。  
**答** 住宅リフォーム補助事業で工事費の10%、上限20万円です。

**問** 地下水保全条例の制定は。  
**答** 潟上市の上水道事業が100%地下水であり、保全条例の制定は非常に重要であると考え、汚水の防止、汚染調査および浄化、水量の保全、地下水の涵養、基金の設置等について調査研究を行い、地下水保全条例を目指したい。

## 本市の津波対策は

藤原 幸 雄 議員

**問** 大震災を想定した今後の対応は。  
**答** 津波ハザードマップ作成と同時進行に、避難所の見直しを含めた防災計画の見直しを予定しています。防災無線の難聴地区には震度5以上の時はサイレンを吹鳴することは一つの提言として検討してまいります。

**問** 急傾斜地の再点検は。

**答** 本市建設産業協会の参加協力を得て土砂災害警戒避難に係る情報伝達訓練、災害時要援護者を含む住民避難訓練、秋田県砂防ボランティアによる講習会、がけ崩れを想定したシート張り工実施訓練を行い、市民、行政及び関係各機関において災害発生時の対応を再確認できました。

**問** 東日本大震災復興のための本市の公共事業の影響は。

**答** 全体的に当初の計画どおりの公共事業を実施できる見込みです。出戸小学校の耐震補強及び大規模改修事業並びに下水道事業についても概ね要望通り認められています。要望額全額に対して補助内示がありました。事業への着手が計画より1ヵ月程度の遅れとなっております。



防災訓練

**問** 広域消防の進捗状況は。  
**答** 平成24年4月の統合を目指しているが、事務所の位置や人員削減計画額が確認されたものの構成市町村間の負担金の格差が大きいこと、財産の取扱いについての調整に時間を要している等で大変難航しています。

**問** 隣接の秋田消防本部との応援協定の見直しは。

**答** 法令化された全国的な消防応援制度に基づく消防部隊である「緊急消防援助隊」が災害地の市町村長都道府県知事、消防庁長官の要請によりできますし、見直しは考えていません。

# 一般質問



# 一般質問



## 本市の節電対策について

岡田 曙 議員

**問** 県では節電目標を20%と定め「全県一斉節電行動」が試行されましたが、市民に対する節電の思想と普及についての考えは。

**答** 本市では、削減目標を15%とし、市ホームページや広報により節電情報の提供や啓発運動を実施します。また、市有の施設関係では節電対策を徹底し、全職員一丸となって取り組んでいます。

## 地上デジタル放送受信の準備について

**問** 放送の切り替えによる混乱を防ぐための市民への対応は。



食菜館くらら直売所

## 学校給食に地産地消の推進について

**答** 受信にかかわる業務について、総務課行政情報班が窓口担当となり、デジサポ秋田と協力連携しながら広報の周知に努めています。生活保護世帯にはチューナーの無償給付を斡旋し高齢者世帯については民生委員が対応しています。

**問** 学校給食において地場産品、産物の活用が提唱されている。食材の安定供給に向けての体制整備について協議し、検討を重ねているが、その取り組みについては。

**答** 地場産の食材を使用することは「食」の安全、安心につながることも農家の生産意欲の向上の推進に大変重要であると認識しています。今後、現状と課題を踏まえてそれぞれの立場での情報を交換し合い、地場産物の使用率向上を図るために営農計画の見直しや課題の検討などを継続していく必要があると考えています。

## 中学校体育における武道の必修化について

鈴木 斌次郎 議員

**問** 剣道・柔道・相撲以外の選択科目を検討しているか。指導者の養成、確保はどの様な取り組みをするのか。併せて武道用具の整備が必要となった場合の財源は。

**答** 来年度から必修化ですが、すべて柔道を選択します。指導者については、今後「体育学習テクニカルサポート事業」を市内小・中学校に周知し、武道に限らずその種目の専門性の高い教員を派遣し、質の高い授業を目指したい。用具の整備費用が地方交付税に算入されるかは未定です。

## 企業誘致について

**問** これまでの潟上市の企業誘致の実績、支援は。

**答** これまで5社が進出し190名の雇用が創出されています。支援については、固定資産税の課税免除や雇用奨励金の交付措置の対象企業としています。企業振興支援策として融資枠を3億円から6億4,000万円に拡大しています。

## スポーツ振興について

**問** 総合型スポーツクラブの活動支援と、積極的に全国規模の大会を招致する考えは。

**答** 活動拠点施設の使用や広報等による周知活動の支援を行いながら育成に努めていきます。ハイレベルな大会については、スポーツの向上と地域活性化、生涯を通じた豊かなスポーツライフ作り等、スポーツ振興を展開する上で各種大会等は財政・費用対効果などを十分検討し、招致していきたいと考えています。



昭和工業団地

## 災害をどう防ぐ

佐藤 義久 議員

**問** 地震・津波の対策として、東湖小、総合体育館を避難場所に指定した理由は。震災を教訓に湾岸道路や森、堤防の設置、低い土地の町内の集会所に3階建ての鉄筋コンクリートの構築物を建設しては。

**答** 今回の指定は、あくまでも仮設定したもの。地域住民の「津波被害はない」との意識を改革する目的で行ったものです。堤防などは、国・県と協議したい。提案については、相当の財政も必要となるので検討します。

**問** 防災無線は聴きづらく、この解消と携帯電話を市に登録した方に一斉メールを送信しては。

**答** 屋外スピーカーの調整を実施します。テレフォンサービスもありますが、増設を図り、難聴を解消します。携帯、パソコンへのメール送信は、検討したい。

### 新庁舎建設に関連して

**問** 先の住民投票条例案についての市長の意見書は住民の権利を否定し、署名数、区域、地域で市民を差別したものと思うが。

**答** 有効署名数が法定数を超えた



防災無線

事実は、厳粛に受け止め、認識しています。市議会、自治会長会議で報告していますので必要ないと判断。地域別の数は議会での質問にお答えしたもので、区別差別したものではありません。

**問** 合併時点の地区別、借金にこだわっているのでは。

**答** 市広報の財政健全化のため、市債を合併時に明示した経緯があり、どの程度減ったかを知らせたものです。

## 今後の防災対策について

藤原 典男 議員

**問** 東日本大震災からどのような教訓や必要な施策を考えるか。停電による断水対策、避難所、高齢者対策などは。

**答** 3月11日に発生した地震では市議会定例会の中での出来事で幹部職員が揃っていたことからすぐに対応を協議し情報収集にあたれましたが、日本海中部地震のように道路の陥没、堤防の崩壊、液状化現象などを誘発した場合、分庁方式では意思決定と伝達が遅れ、救援や被害対策の遅れが想定されます。本庁方式による新庁舎の建設で市民の安心・安全なまちづくりを進める考えです。安定給水では自家発電設備や給水タンクの増設の検討、小・中学校は早期耐震補強工事化や避難所としての機能を果たせるよう整備を進めます。要援護者の避難対策は手上げ方式で台帳整理を進めます。

### 救急医療体制について

**問** 地元病院の夜間救急診療体制の維持への取り組みは。

**答** 医療スタッフの不足から制限すると広報されました。実情は原則対応しておりますが、患者さんの重症度により受け入れ困難な場



上水道タンク (元木山)

合もあり救急隊と連携を取り合い対応すると把握しております。市は救急医療体制が整うよう「地域保健医療福祉協議会」等で協議・検討していきます。

### 軽自動車税の障害者制度について

**問** 県の減免制度にならない申請期間や手続きの改善は。

**答** 減免を継続される方は事前に申請書を送付する方向です。納期についても今後検討します。

# 一般質問



# 一般質問



## 被災者支援システムの導入・運用について

**問**

災害発生時、住民基本台帳のデータをベースに被災者台帳を作成、被災者状況を入力することで、一元的に管理できるシステムの導入、運用の考えは。

**答**

罹災証明の発行や避難所、仮設住宅への入退去、救援物資や義援金、支援金の管理配布など、住民が必要とする各種支援制度を一刻も早く提供するためには、変化する被災住民の現況や家屋の被害状況を一元的に記録、管理することが必要。各種の災害対策は、事前に検討し、被害に備えることこそが重要であると考えています。既存電算システムとの適合性、利便性、費用について検証を進めていきたい。

## 緊急医療キット配布事業について

**問**

個人の医療情報や緊急連絡先、避難支援カルテなどを入れたキットを冷蔵庫に保管すれば、救急隊員が、すぐに目につきやすい。キット配布事業に取り組むべきでは。

菅原 理恵子 議員



緊急医療キットを冷蔵庫へ保管

**答**

この事業の内容については、高齢者や障害者などの安全、安心を確保することを目的に、かかりつけ医、薬剤情報、持病などの医療情報や診察券写し、健康保険証写しなどの情報を専用の容器に入れ、保管しておくことで万一に備えるものです。医療キットとして、筒状のものを、冷蔵庫に保管できるように事業展開について、考えていきたい。

## 市議会のクールビズへの対応について

本議会では例年6月1日から9月30日までをクールビズ期間としておりましたが、東日本大震災の影響により夏場の電力不足が特に懸念されることから、**今年度は5月から10月31日までの期間で実施**することになりました。

全国市議会議長会でこの取り組みは確認され、全国786市議会、23特別区が足並みを揃え、電力不足に対応していくことになっています。

クールビズ期間中、市議会議員は、議会本会議、委員会、各種会議、行事などには軽装で出席いたしますが、市民の皆さまからのご理解をお願いいたします。



委員会の動き

# Q&A 総務文教

市はどう答えたか

|      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 菅原 久和  |
| 副委員長 | 小林 悟   |
| 委員   | 藤原 典男  |
| 委員   | 西村 武   |
| 委員   | 鈴木 斌次郎 |
| 委員   | 堀井 克見  |
| 委員   | 千田 正英  |

●市税条例の一部を改正する条例  
(東日本大震災により被災された方の税金の減免に関する条例)

問 本市に被災地から避難されている方で該当者はいるのか。

答 現在、該当者はおりません。

●市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

問 国の法律改正によるものだが、多数の者が休業をした場合、職場の対応はどうなるか。

答 育児休業を取得する職員には出来るだけ早く申告してもらい、課内での連絡調整を密にして対策を図りたいと考えています。

●平成23年度一般会計補正予算(第2号)

問 地上デジタル放送受信対策費補助の内容は。

答 難視聴地域として総務省から船橋・田屋地域が指定され、共同アンテナや個人向けの高性能アンテナの設置に関する補助をするものです。

委員会の動き

# Q&A 社会厚生

市はどう答えたか

|      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 佐藤 昇   |
| 副委員長 | 中川 光博  |
| 委員   | 児玉 春雄  |
| 委員   | 藤原 幸作  |
| 委員   | 岡田 曙   |
| 委員   | 佐々木 嘉一 |

●平成23年度一般会計補正予算(第2号)

問 施設整備等補助金により、市内全ての介護施設にスプリングクラーが設置されるのか。

答 平成23年度で市内の全ての老人福祉施設にスプリングクラーが設置されることとなります。

問 胃がんクーポン券は何人受診を目標にしているのか。

答 胃がんクーポン券は1,000人に通知し30%の300人を目標としています。

問 津波ハザードマップにおいて本市は、想定をマグニチュード7.7としているが、能代市では8.0位と考えている。7.7と8.0ではエネルギーで3倍になるが、津波の高さはどれくらいとなるのか。



集団早朝検診

委員会の動き

# Q&A 産業建設

市はどう答えたか

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 佐藤 義久 |
| 副委員長 | 伊藤 栄悦 |
| 委員   | 大谷 貞廣 |
| 委員   | 菅原理恵子 |
| 委員   | 澤井昭二郎 |
| 委員   | 戸田 俊樹 |
| 委員   | 藤原 幸雄 |

●平成23年度一般会計補正予算(第2号)

問 江川漁港の網干し場は、平成に入ってから整備されていると思うが、護岸の改修工事が必要なのか。

答 今回の護岸工事の場所は、昭和58年に県で河川護岸として整備され、その後漁港区域の変更により漁港施設に編入されました。もともと浅瀬に造られた護岸のため根入りが浅く、網の洗浄のため設置したポンプに砂ごと吸い上げられ、矢板の前面が洗掘され傾いてきているため整備するものです。



江川漁港(網干し場)

●平成23年度下水道事業特別会計補正予算(第1号)

問 公共下水道事業の延長が100mから39mに変更になった理由は。

答 対象となる建物の移転先が道路側に変更になり、布設の距離が短くて済んだものです。

**問** 自治振興費の備品購入費の内容は。

**答** この事業の対象は複数自治会で構成するコミュニティ組織となっており、事業申請の通知が来たら説明会を行い事業内容と必要備品の要望調査を行い申請を行っています。今回は二田地区の6自治会が対象です。

**問** 小・中学校への発電機の配備について。

**答** 羽城地区の小・中学校にポータブル発電機を用意します。出力は2,500ワットでテレビ・ラジオによる情報収集、夜間用照明2機分、携帯用電話機の充電用に職員室に配備し、フル活用で6〜7時間対応できます。

**問** 羽城中学校厨房配管工事について。

**答** 3月下旬に漏水が見つかり、排水枘が地盤沈下で陥没しています。給水管、給湯管、U字溝などの配水工事も含めたものです。



羽城中厨房

**答** 今回のハザードマップは、データとしては秋田県の防災計画のマグニチュード7・7、内閣府中央防災会議の津波予測結果、国土庁の津波浸水予想図マグニチュード8・0の3種類を合わせた形での津波浸水区域を明示していきたいと考えています。国土庁はマグニチュード8・0だが、これは浸水区域を図面で表したものであって、津波の高さについては明示されていません。この後、委託した業者と相談しながら明らかにしていきたいと考えています。

**問** これはいつ頃出来るものか。

**答** 年度内に全戸に配布したいと考えています。

### ●平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

**問** 平成22年度国保会計の黒字予定の2億4,500万円はどの部分が黒字なのか。

**答** 22年度の単年度収支においては、約1千3百万円程度の赤字となる見込み。ただ、21年度からの繰越金が約2億5千万円あったので、その差し引き分として黒字となるものです。潟上市の1カ月の医療費が2億円程度です。

### ●平成23年度介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

**問** 社会福祉主事の今後の育成計画は。

**答** 資格取得要件として1年以上の経験が必要で、昨年度異動になってきた職員に資格を取得させるものです。

### ●平成23年度水道事業会計補正予算(第1号)

**問** 給水タンク購入費がなぜ一般会計からの繰入金となるのか。

**答** 災害時にはホームポンプを利用してある家庭や水道区域内の高台などの断水区域への給水活動もあるので、2分の1の繰入となりました。

### ●農業集落排水施設設置条例の一部を改正する条例(案)

**問** 基本料金は1,260円、超過料金は168円、20mで2,940円となるが、算出根拠は。

**答** 維持管理費を100%、資本費の20%を回収できるように設定しました。公共料金適正化検討委員会からは、20mとしてさらに平成27年度から3,150円と出されたが、市民負担が大きいうことで2,940円に設定しました。

### ●下水道条例の一部を改正する条例(案)(質疑内容)

**問** 料金改正の額は農業集落排水と同じなのか。

**答** 下水道を同じ料金に統一するものです。

### ●水道事業給水条例の一部を改正する条例(案)

**問** 天王地区の料金をこのままとし、昭和・飯田川地区も一向地区も同様に値上げしたら、住民に分かりやすいのでは。

**答** 昭和・飯田川地区の上げ幅が25%と高くなる。また、内部留保資金が毎年約6千万円も生じて、公営企業として不適正となります。

## 第2回

# 議会報告会

(5月28日・29日)

今年の議会報告会は昨年度のアンケート結果から、「土曜の夜、日曜の午前」の開催とし、延べ127人の市民のみなさんから参加をいただきました。会場で寄せられました意見・提言などについて市当局より回答をいただきましたのでお知らせします。

### 防災無線について

**声** 聞きとりにくいので対応を。

**答** 難聴地域の防災行政無線の屋外拡声子局のスピーカーの方向調整を実施しております。調整後の難聴地域を再調査し、さらに難聴が発生する場合はスピーカーの増設及び屋外拡声子局増設で緊急放送時の難聴地域の解消を図ってまいります。

**声** 防災無線で放送される情報が多すぎる。放送基準を明確にすべきである。

**答** 防災行政無線であることから緊急放送と合わせ、市民への行政情報の提供の手段として活用しており、今後放送内容を精査しながら必要情報を提供してまいります。

**声** テレホンサービスを行っていることをもっと市民に周知徹底すべきではないか。

**答** 市広報及びホームページに分かり易く掲載し市民への周知を図ってまいります。

**声** 防災無線がどの程度聞き取れているものか、調査してほしい。

**答** 屋外拡声子局のスピーカーの出力量について調査を実施しております。

### 防災対策について

**声** お年寄りを中心に、防災用品を市で一括購入（購入あっせん）することはできないか。

**答** 自治会単位での購入あっせんが適当と考えますので、各自治会と今後話し合いをしてまいります。

**声** 東湖小学校は災害時の避難場所であるが、3階といっても低い。耐震化工事とあわせて屋上にも避難できるようにしてもらいたい。

**答** 東湖小学校の校舎については校舎屋上を避難場所として、屋上までの非常階段延長工事及び屋上フェンス等の設置を検討しております。

**声** 自主防災組織と市の災害対策本部との連絡・連携体制がなく、災害時の対応に問題がある。

**答** 自主防災組織の活動は重要であり、今後、連絡体制を整備し自主防災組織と市がともに防災訓練、図上訓練を実施し連携を深めてまいります。

ます。

**声** 道路や橋の幅などで緊急車両が入れない場所がある（妹川浜町内）ので、そのような箇所がないか調査のうえ、計画的に解消していただきたい。

**答** 道路や橋の幅が狭く、緊急車両等が入りにくい箇所は市内全域にわたり存在します。

このような箇所の有無についての調査には、地域の方々から情報の提供を受けるなど、様々な方策により進めてまいりたいと考えております。

また、災害時において道路が狭く、緊急車両等が入れない箇所を抜本的に解消するためには道路拡幅が必要となり、用地の取得や物件補償など多額の費用と時間を要することとなります。

今後、各地域の状況を自治会からお聞きし、対応策を協議していききたいと思っております。

**声** 災害発生時に自分はどこに避難すべきかわからない。避難所ごとの収容可能人数も教えていただきたい。

**答** 今年度作成予定である津波ハザードマップの策定にあわせ、現在定めております避難施設の検証を行い、ハザードマップに記載いたします。

### 新庁舎建設について

**声** 昭和、飯田川地区には窓口機能が残るとしても、1000人規模の事務所がなくなる。地区の雇用、活性化に影響することから、潟上市に警察署などをもつてくるのはどうか。

**答** 新庁舎建設後の現庁舎等の利活用については、今年度新たに「現庁舎等利活用検討委員会」を立ち上げ、市民の声を取り入れながら協議・検討することとなっております。

**声** 候補地は津波の可能性が大です。その点も考慮し、天王地区にこだわらず選定を。

**答** 現在検討中の候補地は、天王グリーンランド周辺ですが、候補地周辺の浜ナシ山の海岸沿いには、標高15mから20m以上の保安林が海岸線に並行して2重に連なっていることから、この保安林が防波堤の役目を果たすものと想定されております。

## 学校施設の耐震化について

**声** 保育所、幼稚園、小学校、中学校の耐震化の対応について実施済みなもの、今後調査し実施するものを整理して教えてほしい。

**答** 市内の旧耐震基準（昭和56年以前）で建てられた学校は、天王小学校（昭和46年）、東湖小学校（昭和52年）、出戸小学校（昭和55年）、追分小学校（昭和54年）、天王中学校（昭和37年・昭和53年）と豊川小学校（昭和37年）建設が該当します。

市では、計画的に平成15年に天王小学校、平成18年に追分小学校の体育館の耐震補強工事を実施しており、今年度は出戸小学校の校舎及び体育館を実施します。他の東湖小学校、追分小学校、天王中学校についても、早期に計画を立てながら耐震工事を含めた大規模改修を推進します。

保育所・幼稚園については今後、幼保一体化施設（認定子ども園）として、順次整備する計画ですので、調査の予定はありません。

## その他

**声** 羽城中学校の視聴覚ホールの使用について、興行目的ではなく文化的意図で使用する場合は使用できるように検討いただきたい。

**答** 羽城中学校の視聴覚ホールは市民の地域活動や芸術文化活動等の活

用も視野に入れて建設されたもので、学校での使用と重ならない範囲で、興行目的ではなく芸術文化活動の一環としての活用は可能です。

**声** 天王温泉くらは高齢者には非常にありがたい。料金を半額にして、もっと頻繁に利用できるように検討いただきたい。

**答** 天王温泉くらは市からの指定管理料と入浴料収入で温泉（公社）を運営していかねばなりません。が、経常経費に加え最近燃料費等の高騰もあり、厳しい経営状況です。高齢者の入浴料の減免（半額）は考えておりませんのでご理解願います。

**声** 出戸地区のモーターは児童健全育成の観点から好ましいとは言えず、発展するまちにとって必要ではないと思っている。職業に規制はないということも承知しても納得できない。市でもなんらかの取り組みはできないものか。是非して欲しい。

**答** 都市計画区域外にあるものは、建築基準法上は合法ということになります。

秋田県条例の施行前から営業されているものに関しては既得権があるため、現在の営業が可能となっております。

モーターに近接する小・中学校の児童生徒に対しては、交通安全の観点からは問題ありませんが、健全育成上からは通学路を変更するなど、

今後学校と協議・検討してまいります。

**声** 検診について、受診率が低いので受診して下さいと広報するだけでなく、男女別、どの年代が、どの層が低いのかを掘り下げていき、そこに集中して啓蒙・啓発活動をしていくべきではないか。

**答** がん及びメタボリックシンドローム予防の知識の普及啓発に今後も重点的に取り組んでいくにあたり、健康生活推進協議会との協同・連携が欠かせません。今後も協議会と共通理念の下に予防啓発活動を強化してまいります。

**声** 松くい虫について、切ったものをそのままにしているのが見られる。法令で焼却、燻蒸処分しなければならぬのでは。

**答** 市の事業で伐倒した被害木はすべてチップ又は焼却処理しております。

本来、松くい虫被害木の処理はその土地の所有者が行うべきですが、「秋田わか杉国体」の前に、地域の景観の整備を進めるため、秋田経済同友会の助成を受け、潟上市建設産業協会に委託し、伐倒処理を行っております。この事業では、本来個人が行うべき作業を協議会が代行で行う条件として、伐採した樹木はその場にまとも、個人が処理することで伐倒を行っております。ご指摘の箇

所はこの事業で行った可能性がありません。

松くい虫被害木の処分方法について、法的な規制はありませんが、県の指導では、「完全に枯れた松はそのままでも良い」「葉が赤い松については、冬はそのままでも良いが夏場は焼却又は燻蒸が必要」とされています。

**声** 原発の事故に関連して、放射能の測定機器を市で購入し、定期的に市民に報告して欲しい。

**答** 放射能測定機器を整備し、定期的に測定します。測定結果につきましてはホームページ、広報に掲載しません。

**声** クリーンエネルギーとして注目される風力発電の推進について、市内に関連する企業もあることから雇用の面、あるいは、観光の面から考えてみてはどうか。

**答** 県では、「秋田クリーンエネルギー総合特区」構想で男鹿市の船越水道付近から秋田市向浜までの海岸約20キロに大型風車40〜45基の導入を想定しています。こうした特区構想の状況を見ながら、市でも雇用、観光の面も含め検討したいと考えております。

詳細は議会ホームページに掲載しています。

# 全国市議会議長会表彰

6月定例会において、全国市議会議長会総会で永年勤続議員として表彰を受けられた4名に対し、本会議場で千田議長より伝達が行われました。

(町議会議員の勤続年数は2分の1加算です。)

永年勤続20年以上

澤井昭二郎 議員



永年勤続15年以上

藤原 幸雄 議員



永年勤続15年以上

西村 武 議員



永年勤続15年以上

佐藤 義久 議員



## 全員協議会

7月19日開催

全員協議会では「新庁舎建設候補地について」を庁舎建設候補地選定委員会の報告内容に沿って当局より説明がありました。

「合併協議会の決定事項を尊重し、行政拠点として広く市民に親しまれる施設で、まちづくりに貢献できるような位置とするように合併特例債の適用期間内に建設することを観点に協議が重ねられた。候補地は市提案の3候補地と委員提案の6候補地の9候補地について審査した結果、委員提案の蒲沼地内を最適格地とし、それに準ずる候補地を棒沼台ならびに蒲沼地内とするものである。」との説明がありました。

最適格地として選定した理由については経済性や、周辺道路とのアクセス性等が説明されました。

説明のあと質疑が行われました。主な質疑応答は

**問** 委員会の意見も重要だが、議会も市民の代表である。このことについての市長の認識は。

**答** 「市民の声を聞け」という議会の意見を聞いて候補地選定委員会を設置した。真摯にご意見を受け止めるとともに議会でも協議いただきたい。

**問** 報告は「潟上市民の利便性」とあるが、合併協定は「昭和・飯田川の利便性」である。また、既存庁舎の利活用も検討しないで候補地を選定できるのか。

**答** 委員会では合併協議会の確認事項を十分に念頭において協議し、候補地を選定している。利活用については早急にとりかかりたい。

**問** 委員会の協議内容を知りたいので会議録の提出をお願いする。

**答** 委員会からは膨大かつ詳細な報告書、資料が提出されている。質問があればこの場でどんどんお願いしたい。

この後、議会は候補地の調査予算等の提案に対応していくことになりました。

## 編集後記



東日本大震災後初の市議会とあって、一般質問で防災対策関連の質疑が集中しました。被災されました皆様にお見舞い申し上げますとともに、早期の復興を望むものです。今議会での生活関連では、上・下水道料金統一の条例が可決し、今後激変

緩和措置のもとで料金統一に向かいます。5月末には、議会報告会を6箇所で開催し、各委員会質疑と庁舎建設の経過を説明しました。皆様から寄せられましたご意見を今後の市民生活に生かしていく所存です。電力不足から節電が呼びかけられています。昔の知恵も生かし、熱中症に気をつけて夏を乗り切りましょう。

(藤原典男記)